

## 第 50 回 東京消化器内視鏡看護勉強会レポート

テーマ： 高周波・処置具の「know-how」

日 時： 令和 1 年 7 月 21 日(日) 14:00~16:00

会 場： NTT 東日本関東病院 4 階カンファレンスルーム

出席者数： 114 名

令和最初であり第 50 回を数える節目の看護勉強会でした。その会にふさわしく大変多くの参加者に恵まれました。もちろん本日の講師は、NTT 東日本関東病院内視鏡室に勤務の志賀拓也さんです。臨床工学技師さんであり、永く内視鏡室に勤務され、この看護勉強会におきましても何度も講師をお引き受けいただき、わかりやすく楽しく解説していただいております。

さて、今回の勉強会の内容をご紹介します。

1.Cold snare polypectomy

2.EMR



3.止血関連(緊急内視鏡) の項目に沿ってお話しくさしました。

自施設仕様を中心に 1.では、スネアの種類や特徴にはじまり、CFP と CSP の選択基準や切除時の注意点・切れないときの対処方法や、検体回収の工夫など細やかな点まで解説いただきました。2.では、スネアリングの know-how やクリップの種類・特徴、ポリープによって切り替える高周波モードの設定基準などお話しくさしました。3.では病態把握のための用語の確認及び出血部位など、基本的な事柄から準備のための情報収集の大切さや、対応処置方法など、

すべてにおいて、動画など用いて詳しく講義くさしました。

明日から使えるちょっとした工夫や困ったときのエッセンスなど大変密度が濃く盛り沢山ではありましたが、あっという間の約 2 時間で、もっとお聴きしていたいと感じる講義でした。

東京消化器内視鏡看護勉強会では、皆さんのアンケートなどご意見を基に充実した会となるよう、世話人一同努力してまいります。今後ともどうぞよろしくお願ひいたします。

次回は、11 月 9 日(土)14:00~五反田文化会館にて事例検討会を企画しております。多数のご参加をお待ちしております。

(文責 小倉 薫)